

やさかだよい1月号No. 76

八坂地域づくり協議会

<http://www.shinshu-yasaka.com>

2020年（令和2年）1.1

謹賀新年



1月号の記事

新年のご挨拶	2
地域づくり協議会の活動	3
移住者との交流会	4
八坂支所民生係から	5
避難場所	6
地区活動	7
八坂小・たけのこ保育園	8
山留の風	9
コミュニティースクール	10
八坂公民館から	11
話題の八坂人・編集後記	12



明けまして おめでとうございます。
令和2年の新年を迎え、今年一年が、皆様にとって良い年でありますようご祈念申し上げます。

表紙の写真は、小学校遠足コース（城ヶ峰コース）の整備ボランティアの様子です。台風の影響で延期となり、11月10日に実施しました。当日はすでに多くの行事が決定しており、参加された方は多くはありませんでしたが、皆さん熱心に作業していただき、整備することができました。

八坂地区の人口：817人
（男401・女416 高齢化率36.5%）
八坂地区の世帯：356世帯
（令和元年12月1日現在）

新年のご挨拶



八坂地域づくり
協議会長

竹村 信吉

新年あけましておめでとうございます。日頃は当協議会の運営にご協力を賜りありがとうございます。

昨年は、平成から令和に変わりそれにより天皇も令和天皇に変わられ「即位の礼」が行われ、大きな変化の年でありました。

また災害が多くいくつもの台風が日本列島を襲い、県内でも特に北信地方を中心に甚大な被害を受けました。早期の復旧、復興を願うところでございます。

さて、協議会では、2年前から話がありました明野太陽光発電事業の住民説明会が開催され、土砂災害の恐れや下流水源の水量問題、発電事業が完了した後のパネルの処理方法などについて、県・市・開発業者、協議会の4者で協定を締結し、今後監視していくこととしました。

ビューポイント整備は、昨年新たに「大姥の滝周辺」小学校の遠足コースの「秋葉様への参道」の整備を行い、大勢の皆様に参加いただき、景観もきれいになり良い交流の場と

なりました。今後もこのような活動を通じ、皆様との交流の場づくりを広げていきたいと考えております。

長年八坂地区の祈願であった、相川トンネル下改良工事が昨年秋季に完了し、11月2日に完成の報告会が行われました。平成10年の事業着手から、21年かかりようやく全面開通となりました。また、国道19号整備促進期成同盟会は、昨年から地域代表者も会員となったことから、八坂を代表し出席してまいりました。長野国道事務所長や国会議員に、野平洞門から柝沢洞門までの区間整備促進について実情を説明し、要望活動を行ったところであります。

さて、今年は東京オリンピック開催の年です。と同時に、市では国際芸術祭2020が開催されます。当地域でも、前回同様に地域の皆様にご協力いただくことで、地区の活性化につながたいと思います。

最後になりますが、協議会では地域活性化のため定住促進、ボランティア活動など積極的に取り組んで参りますので、地域住民の皆さんにもご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

大町市八坂支所長 牛越光夫

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、八坂支所の事業の推進にあたり、格別なご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、全国的に台風被害が多い年でした。県内では台風19号により100年に一度と言われる千曲川の氾濫が起き、佐久・上田・長野市などは建物や人家・人命まで奪われる大きな被害を受けました。当、八坂地区も平成16年に台風被害を受け、地区内全域が「孤立」状態になった事がありました。

昨年の暮れに「日赤奉仕団八坂分団講習会」が開催され、日本赤十字長野県支部の推進員2名の方を講師に迎え「講演・グループワーク」など行いました。講演では、東日本大震災や台風19号災害の経験から、災害の対処についてお話しがありました。災害への備えとして、自助7割、共助2割、公助1割であり、これは、自分の力で自分の身を

守る事が、「自助」、近隣や地域の人々が協力する事が、「共助」、国や自治体が対応、支援する事が、「公助」であると話がありました。気候の変動によりいつどのような災害が起きるか解らない状況の中で、普段から災害に対する意識を持ち、備える事が大切と改めて感じさせられました。皆さんも日頃から災害意識を持って、避難所の確認や危険個所の確認など行うよう心掛けて下さい。

昨年、地域づくり協議会を中心に、「唐花見温泉遊歩道」や「大姥の滝周辺」など地域の名所地の整備を「ボランティア活動」として行っております。このボランティア活動が「交流の場」となり、地域住民自らが自分たちの力で地域を守る活動として今後も広まってほしいと思います。

今年は、国際芸術祭2020が、5月31日(日)から7月19日(日)の50日間、開催されます。国際芸術祭を通じて、人との交流の中から、「地域の良さ」を再発見していただければと思います。

最後になりますが、昨年の4月より支所長として拝命を受けました。若輩者で地域の皆様に多々ご迷惑を掛ける場面があるかと思いますが、今後も宜しくお願いいたします。今年一年が皆様にとって良い年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



地域づくり協議会の活動から

期 日	区 分	内 容 等
10/31	有害鳥獣についての勉強会	講師 ・北アルプス地域振興局林務課鳥獣対策専門員 ・北アルプス農業改良普及センター専門幹兼担当係長 ・市農林水産課庶務・林業振興係長
11/8	八坂地域づくり委員会 自治振興会長会議	・市民バス「ふれあい号」の運行について ・令和元年度八坂支所要望に対する回答書 ・自治組織の在り方について
11/10	小学校遠足コース整備ボランティア	・小学校遠足コースの整備ボランティア
11/14	地域振興部会及び地域振興検討会議 合同会議	・移住者交流会の開催について ・やさかボランティア隊（仮称）について
11/16	移住者との交流会開催	・地域の方と移住者の方との交流会
11/24	日赤奉仕団講習会（民生係）	・日赤長野県支部研修推進委員の講演 ・ワークショップ
12/1 ～31	年末の交通安全運動	・交通安全協会事業所訪問 ・街頭指導
12/13	八坂地域づくり協議会	・太陽光発電事業について ・指定管理施設について ・市長との懇談会について ・議会との懇談会について
12/18	松系道路地区説明会	・「複数のルート帯案の比較評価」について

◎10月31日(木)「有害鳥獣対策についての勉強会」を開催しました



10月31日、地域づくり協議会主催の「有害鳥獣対策についての勉強会」を、支所3階集會室で、県・市職員を講師に迎え30名の参加者で、開催しました。

当日はお忙しい中、牛越市長にもご参加いただきました。

① 有害鳥獣の生態について（敵を知る）
② 八坂地区における有害鳥獣被害について（現状把握）
③ 有害鳥獣による被害防止について（課題と解決策）
④ 行政による対策について（有害鳥獣被害対策実施隊・防除対策に対する助成事業）
⑤ 地域としてすべきことは何があるか（今後の対策）などを学びました。

八坂地区ではこれまでも鹿や猪の被害対策として、防護柵などを設置してきましたが、当時はあまり見かけなかったニホンザルの群れが集落の中にまで現れ被害地域が拡大しています。



当日の会長挨拶にもあるように、「有害鳥獣による被害防止対策を個人で行うには限界がある、この勉強会が地域として被害防止対策に取り組む良い機会となる」ことを目指し、熱心に講師の方のお話を聞き、積極的に質問をされていました。

すぐに取り組める事として、鳥獣の誘因物となる野菜くずや収穫する予定のない果樹（柿など）は放置せず片づけるか収穫し、サルの餌付けにつながるないようにすることが大事だという事を教わりました。支所でも早速、柿の木を伐採して対応しました。

「移住者との交流会」を開催しました

11月16日土曜日「移住者との交流会」が公民館アキツで開催され、お子さんも含め30名の参加がありました。豚汁や炊きたての八坂の新米、焼き鳥、鹿肉の焼き肉、白菜やキャベツの浅漬けを用意しましたが、差し入れを持ってきてくださった方もあり楽しく交流することができました。ワークショップ形式で八坂の良いところ・悪いところ・困っている事などをそれぞれのテーブルのグループで話し合っていました。

その中で、何か一緒にやりたい事として、集落単位を越えた交流の機会や、これからの八坂を担う中学生達と交流できたらいいという意見が出ました。アンケートでは、交流会は有意義だったが、ここで出た意見をこれからの地域づくりに反映させるため何度も交流会を継続させていきたいと思いますという意見をいただきました。



小学校遠足コース（城ヶ峰コース）の整備ボランティアについて

やさかボランティア隊（仮称）は、地域振興部会、地域振興検討会議の皆さんの協議の結果、今年度すでに実績もでき定着したという事で、（仮称）を取り、「やさかボランティア隊」として活動していきます。



地域を越え、協力して整備作業を行うことは、八坂地区を考える上で非常に大切なことです。今回も、山姥の滝の整備で協力した、「上箆郷土文化を発展させる会」の皆さんも駆けつけてくれました。このような交流が続いていけるよう、今年も整備事業を考えていきますので、ぜひ大勢の方のご参加、ご協力をお願いします。

小学校の遠足コースを整備して、小学生が安心して通れるように整備したいという声が寄せられ、やさかボランティア隊による小学校遠足コース（城ヶ峰コース）の整備作業が11月10日に行われました。初めに予定されていた日にちは台風の影響で延期になり、参加者は多くはありませんでしたが、地域振興部長の田中照幸さんが、倒木の片付けなどを前もってやっていただいた事もあって、少数精鋭で作業を進めることができました。小学校からも櫻井校長先生が参加してくださいました。作業後は、秋葉様からの眺望を楽しみ、北澤豊繁さんの差し入れのたけのこ汁をおいしくいただきました。



新民生児童委員の紹介

令和元年 12 月 1 日付けで民生児童委員の一斉改選が行われ、厚生労働大臣と大田市福祉委員の委嘱状が牛越市長より渡されました。任期は 3 年間で今後、地域の福祉推進のためご活躍いただきます。

高齢者・障がい者の福祉、介護保険、医療、住居、生活費、家族関係、子育て、福祉に関する日常的な支援などの問題でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

今回、選任された八坂地区の民生児童委員の皆さんは、次の方々です。

(任期：令和元年 12 月 1 日～令和 4 年 11 月 30 日)

役 職	地区名	氏 名	担 当 地 域	新/継
会長	中央	鳥屋 隆一	一の瀬・大塚・小菅・長畑	継続
副会長 主任児童委員	全地区	北澤 明美	地区内全域	継続
委員	大平(1)	北澤 隆美	相川・大平・藤尾・明野	新規
委員	大平(2)	降旗 興平	梨平・矢下・笹尾	新規
委員	石原	北澤 恵津子	横瀬・塩の貝・菖蒲・石原・満仲・菅の窪・小松尾	新規
委員	切久保	田中 照幸	押の田・切久保・曾山・宮の尾	継続
委員	野平	吉家 眞由美	布宮・池の平・野平・地志原・二滝	新規
委員	舟場	今溝 敬子	舟場・栢沢・上篋	新規

なお、今回の一斉改選により退任された民生委員は、南澤靖(舟場)：塚田ひろ江(大平(1))：平林操(大平(2))：大澤禮子(石原)：坂井光子(野平)の 5 名です。(敬称略)長い間、お世話になり、ありがとうございました。

日赤八坂分団の講習会の開催

11 月 24 日(日)八坂支所に於いて日赤八坂分団主催の講習会を開催しました。講師は日本赤十字長野県支部地域赤十字奉仕団研修推進委員の福島朝雄さん、岡田敏子さんのお二人を招き、はじめは、赤十字の成り立ちから説明を受け、今年の台風 19 号での被災地での状況などご説明を頂きました。途中からは、岡田講師によりテーブルごと、ワークショップ方式で“保育園での地震状況”の絵を使い、個々に危険な箇所の推測の判断をさせ、その後テーブルごとに意見交換を行い、答え合わせを行いました。個々の考え方の違いについて改めて強く感じた内容でした。

講演の中で興味深く感じた事は、「あれば便利なもの」より「無ければ困る」ものを常に身近に置いておくことが大事であるという話しがされ、常備薬・通帳・証券類などの控え番号を記入したメモや、スペア眼鏡や補聴器・入れ歯など参加者の笑を取るような場面もありました。

災害による被害は自分たちの日頃の努力により減らすことが出来、行政による「公助」は 1 割であり、自分の身は自分で守る「自助」、地域の身近にいる人同士が助け合う「共助」こそが、災害による被害を少なくするための大きな力になります。ただし、身の廻りの人を助けるには、まず自分が無事でなければならず、「自助」あつての「共助」であると、講師からのお話がありました。

講師の先生からは、来年もとのお話しも有ったことから、自主防災会の皆さんも加わっていただく中で施行方法を変えて開催したいと思います。

指定緊急避難場所

八坂地区避難場所一覧

被害が差し迫った状況や災害発生時において、緊急的に避難し、身の安全を確保する場所です。洪水、土砂災害、地震等の災害種別ごとに指定しています。

災害の種別は、①洪水、②土砂災害、③地震について、指定するものは「○」、指定できないものは「×」としています。

① 洪水：浸水想定区域外（安全区域）にある場所を指定します。ただし、想定浸水区域でも、洪水等の場合は安全な構造で想定浸水深以上の階を有し、避難が可能である場合等は、指定（「△」と記載）しています。

②土砂災害（崖崩れ、土石流及び地滑り）：原則として土砂災害警戒区域外（安全区域）にある場所を指定します。土砂災害警戒区域は県で指定しています。

指定避難所

指定避難所は、災害の危険性があり、避難者を災害の危険性がなくなるまでの必要な間、滞在する避難所です。また、災害により家に戻れなくなった市民等が一時的に滞在するための施設です。

地区名	指定緊急避難場所	災害の種別			指定避難所 (記載の避難所に、必ず滞在 という事ではありません)
		① 洪水	② 土砂 災害	③ 地震	
石原	石原基幹センター	○	×	×	八坂小学校
	横瀬農家生活改善センター	○	×	○	
	満仲農家生活改善センター	○	×	○	
大平	相川基幹センター	○	○	○	
	明野集会所	○	○	○	
	大平生活改善センター	○	×	×	
	八坂情報コミュニティセンターアキツ	○	○	○	
切久保	切久保公民館	○	×	×	
	八坂切久保運動場	○	×	○	
	育てる会やまなみ山荘	○	○	○	
中央	一の瀬基幹センター	○	×	×	八坂中学校
	中央基幹センター	○	×	×	
	小菅集会所	×	×	○	
野平	野平北集会所	○	○	○	八坂ゲートボール場 (レクリエーションハウス) ふれあいセンターさざなみ
	地志原集会所	○	×	○	
	八坂ゲートボール場 (レクリエーションハウス)	○	○	○	
	野平活性化施設	○	×	○	
	八坂山村広場	○	○	○	
舟場	舟場集会所	○	○	○	
	舟場基幹センター	○	○	×	
	上簗集会所	○	×	○	
	栃沢集会所	○	×	○	

※ 災害により避難場所が違うので避難場所を確認しましょう！ 令和元年12月現在

「どんど焼き」用萱刈作業

中央自治振興会編集委員

丸山 茂

11月17日(日)午前9時からトレーニングセンター周囲の清掃をする班と、基幹センターの障子の張替を行う班に分かれて作業を行いました。

寒さを感じられたものの日差しが暖かさを感じ、穏やかな天候で作業をするこ

とが出来ました。
トレーニングセンター周囲の落ち葉清掃が一段落した頃に全員で、基幹センターにて休憩をして萱刈を行いました。

県道脇の休耕田にある萱を、草刈り機で刈る人と束ねる人に分かれて、基幹センター脇の東屋に運び立て掛けました。雪が降る前に作業することが出来、ほっとしました。

一方では基幹センターの障子の張替と不用品の片づけが進み、室内が以前の明るさを取り戻しつつありました。自宅でも中々することが出来ずに過ぎてしまいがちですが、共同で行うと作業がはかどります。建物は大分古くなってきてはいるものの、出来ることはこれからも続けていければと思います。



川手地区のハロウィンパーティ

野平 小浪和正

10月30日(水)に野平生活改善センターで野平と舟場の川手地区のお母さんと子供たちがいろいろな趣向を凝らした衣装をして集まりハロウィンを楽しみました。

今年は、地元の「成長会」の皆さんから、ハロウィンを盛り上げるゲートがプレゼントされました。子供たちは大喜びでかわるがわるゲートをくぐって楽しみ、お母さんたちが撮影しようとしても集合写真が撮れなくて困ってしまいうらかったです。お母さん手づくりの食事ができるとみんなで仲良く食べて楽しいひと時となりました。



ゲート



黄色いハンカチと和紙のコースターづくり

ご協力いただいた皆さんありがとうございました

小学校



10月12日(土)に予定していた「八坂体験の日」は、台風19号の接近で中止となり、11月15日(金)の授業参観の午前中に実施することにしました。1～3年生は松崎和紙に花などから抽出した染料で、絵や模様を描いてコースター作り。4・6年生は、白いバンダナにタマネギの皮を煮出した染料で絞り染めをして、ランチョンマット作りをしました。(5年生は11月27日(水)に実施。)信濃大町草木染め隊の方から、「作業への取りかかりがどの学校より早く、余裕を持って仕上げることができた」と、うれしいお言葉をいただきました。

郷土学習交流会

11月21日(木)午後、公民館主催事業の「郷土学習交流会」が開催されました。今年は「おやきづくり」「そば料理」「茶道」「わら細工」に「干し柿づくり」を加えた5つの講座です。若干の調整はあったもの子どもたちの希望に沿った体験で、写真のように皆真剣に、それでいて楽しそうに活動をすることができました。地域の皆様、毎年ありがとうございます。



たけのこ保育園 10・11月 楽しい行事がいっぱい!!

笹尾の深澤さんの御厚意でりんご狩りをしました。甘くて瑞々しいリンゴでした。姫リンゴや大根も頂きました。

ハロウィンは、小学校やみさかやアキツ、支所に子どもたちが仮装して回りました。「お菓子くれなさいたずらするぞ!」と言うとお菓子がもらえて、嬉しそうでした。

支所の方のお手伝いでお餅つきをしました。また、一年生と遊んだりお餅をついたりして交流しました。

お店ごっこは、老人クラブの皆さんとペアになって、お店の人になったり買い物して楽しみました。子どもたちもお年寄りもとってもいい笑顔でした。

行事ごとに地域の方や小学生と交流しながら、楽しむことができました。



第44回 収穫祭

11月16日(土)、17日(日)



模擬店、焼きまんじゅう屋台



個人体験発表 やさかよいとこ

お世話になった皆様へ感謝の気持ちを込めて

16日は、午前中に「自然の神様に感謝する式」として、新嘗祭を行いました。地域の慣習にならい、自然の恵みへの感謝の気持ちを込めて執り行いました。神事は、しんとした静寂のもと厳粛な雰囲気にも包まれていました。

午後は、個人体験発表と創作劇「時をこえて」の全体発表をしました。「自分が興味をもったこと」「ここ、八坂美麻でしかできないこと」をキーワードに発表しました。

17日の模擬店とバザーは、お天気にも恵まれ売れ行きも好調ですべて完売しました。前日に続いて、学園生の太鼓・民舞の発表もあり、盛況のうちに終わりました。

終わった後の子どもたちは、「やり切った〜」「終わったんだね…」と達成感に浸っている様子でした。

講師として何度も足を運んでくれたり野菜などを差し入れて下さった方、日頃の通学を見守って頂いた方、言い尽くせないほどのご支援に感謝の気持ちでいっぱいです。

おらほの学校やさか



小学校の活動～小学5年生 田んぼ活動記録～

待ちに待った稲刈り ～10月3日(木)～

学校支援ボランティアの降旗剛さん(矢下)と北澤伸夫さん(大平)に刈り方と束ね方を教わりました。刈ることは良かったのですが、束ねることは、時間がかかっている子、慣れた手つきで流れるような動きで束ねる子もいて、上達するには経験の積み重ねが大切としみじみ感じたようです。

思ったより大変・・・脱穀！～10月30日(水)～

学校支援ボランティアの北澤豊繁さん(横瀬)の協力で足こぎ脱穀機と手作業での脱穀でした。初めて足こぎ脱穀機を使う子どもにとって、最初の難関は「回し方」でした。1回目はうまく回り、2回目には逆回転してしまい、タイミングをつかむことが難しかったようです。続いての難関は「巻き込まれる怖さ」で、回転部分に巻き込まれないように稲を少しずつあてるのですが、引っ張られるため怖かったようです。子どもたちは、「大丈夫？交代する？」と声をかけあい作業も進む中、最後の難関が訪れました！！それは、・・・「疲れ」でした。作業の大変さに疲れ果て、手が止まり、遠くを見つめる子どもがちらほらと・・・。脱穀の大変さを身に染みて感じた1日となりました。



楽しく子どもたちの成長を感じた収穫祭 ～11月15日（金）～

『収穫の喜びと手伝っていただいた方々への謝意』をテーマに掲げ、おにぎりや味噌汁を振舞おうと子どもたちがメニューや発表内容を話し合いながら計画しました。担任の小椋先生からは、「子どもたちで意見を出し合ったり聞き入れたり、自分たちで作り上げていくという高い意識と成長を感じました。」とお話をいただきました。

当日は、米作りでお世話になった方々、保護者含めみんなが笑顔の楽しい会となり、小椋先生の優しく見守っている姿が印象的でした。

米作りを通じて、子どもたちは『仲間の大切さ』を学び、成長していく姿に喜びを感じた保護者の方も多かったと思います。



地域で子どもを育てるためのコミュニティ・スクールの集い

12月11日（水）公民館（アキツ）ホールにて、コミュニティ・スクールの集いが学校運営協議会主催、学校支援代表者会総務広報部企画・運営のもと開催されました。地域の方々と小中教職員、保護者、高校生、小学生も参加し、昨年に増して41名の方々に参加していただきました。

小・中学校長より、活動報告をしていただき、子どもたちのスライドが流れると参加者から自然と笑顔がこぼれていました。

今回は、テーマ「八坂小学校・中学校について『小規模校としての特色を活かした学校づくり』をすすめていくために自分は何ができるのか」について、5つに分かれグループ討議を行いました。スーパーバイザーとして小学校の矢口教頭先生に進行していただきました。限られた時間の中、活発な意見も多く出てそれぞれの八坂に対する思いを共有するととても良い機会となりました。

「楽しく参加出来ました。」と感想もいただき、今回はじめて参加した6年生の吉田龍馬くんから、「子どもが少なく緊張したけど、分かりやすい説明で意見も言うことができました。みんな僕たちの事を考えてくれているんだと思い、とても嬉しかったです。参加して良かったです！もっと、子どもたちが参加すれば良いと思いました！」と笑顔で感想をいただきました。これからも元気で笑顔にあふれた『八坂』を目標に、企画していきます。



八坂塾「そば打ち講習会」

11月15日から全5回の日程で、そば打ち講習会をいり屋やさかで開催しました。八坂地区の郷土食であるそばを多くの方々に広めるとともに、そば打ち後継者の育成を図るため、地域づくり協議会にも協力をいただき開催しています。

今年もいり屋やさかの相川あゆみさんからそば粉のこね方、生地の伸ばし方、切り方など、丁寧に教えていただき、始めは、悪戦苦闘しましたが最後の講座では、上手なお蕎麦を打てるようになりました。



八坂塾「八坂の三宝見学会」

11月16日（土）に八坂の三宝見学会を開催しました。

市文化財センターの島田専門指導員さんにお持ちいただいた、現物の八稜鏡を見学させていただき、藤尾覚音寺で、和尚様より千手観音像・持国天・多聞天に関するお話を拝聴しました。

また大平地蔵堂では、木造地藏菩薩立像を拝観し、最後は、国登録有形文化財に登録された旧北澤家住宅の見学の後、古民家カフェ大木葉(おーきーば)で美味しい有機コーヒーをいただきました。



藤尾覚音寺の千手観音像・持国天・多聞天



大平旧北澤家（国登録有形文化財）

八坂地区文化祭



10月26日（土）、27日（日）に、小学校を会場に地区文化祭を開催しました。

ステージ発表では地区で活動されている団体の皆さんをはじめ、保育園、小学校、中学校の皆さんの発表が繰り広げられ、日々の活動成果を終日楽しむことができました。

展示発表では、日頃地域で熱心に活動されているサークルの皆さんの力作や、保育園・学校展等の見ごたえのある作品が展示され地域を挙げての文化祭になりました。

また、賑わい広場では手作りお菓子やフリーマーケットでの販売、小学生の手作りグッズの販売など多くの来場者で賑わいました。





大田市食生活改善推進協議会
八坂地区です。現在会員は19人
です。

食改の目標は「ぴんぴんころり」。そのためには食事が大切です。また郷土料理の継承も行っています。今までに減塩食、朝の忙しい時に短時間で作れる食事レシピを会員から募集して配布、郷土料理講習、魚のさばき方講習、豆腐づくり、漬物作り、おとうじなど行ってきました。

そして地区の行事に合わせて、敬老会の赤飯作り・漬物作り、文化祭のすいとん作り、子育てセミナー親子で食事づくり、かるた餅つき大会はお雑煮づくり、子ども達と一緒にきな粉餅・砂糖醬油餅づくりです。会員の皆さんが仕事に行く前のわずかな時間にみんなで作った赤飯は「おいしかったよ」と声をかけていただきました。すいとんは「固かった」ので翌年はやり方を変えて作ろうと工夫しています。



子ども達と作る料理は小さな子が包丁を使い、ひやひやする面もありますが、楽しくやっています。餅つきでは子ども達がついた餅を我先にと作ろうとする姿は微笑ましいです。

皆さんと一緒に、健康のために食事づくりを楽しみませんか。いつでもお待ちしております。

北澤三恵子



子育てセミナーの様子

編集後記

こじれにこじれた日韓関係、反日デモの過激な映像を目にした人も少なくないでしょう。事ある毎に流れる反日デモの報道がある一方、日本では逆に反韓デモが行われているのをご存知でしょうか。東京都内では多い年には130件も行われていたそうですが、昨年実施された世論調査ではヘイトスピーチを知らないと回答した人が半数近くに上りました。ではヘイトスピーチに対する認知度が低いのは何故なのでしょう。それは日本が被害者側になる場合の報道が多いのに対して加害者側になる報道が少ないからに他なりません。メディアは真実を発信するのが大前提なのですが、こういったニュースを流すのかはメディア側に委ねられているのが実情です。何が言いたいのかというと、私達が普段目にする映像は「選択された真実」であるという事です。やらせやデータ捏造などはもってのほかですが、情報に左右されずに地にしっかりと足を着けて生きていきたいものです。

谷林圭介